

## 兵庫県保険医協会 第43回総会にご参加ください

◇ 6月19日(日)13時30分～ / チサンホテル神戸(高速神戸「神戸」駅 1分)

- ・総会議事 13時30分～ 2Fあじさい  
2010年度会務報告、2011年度活動方針案、  
2011年度予算案、ほか
- ・記念講演 15時30分～

# iPS細胞・神経幹細胞で神経系を再生する

慶應義塾大学 威臨丸プロジェクト/生理学教室

岡田 洋平 先生



胚性幹細胞(ES細胞)や人工多能性幹細胞(iPS細胞)などの多能性幹細胞は、多様な神経系細胞を生み出すことができるため、神経再生医療のみならず、神経系細胞の試験管内モデルとして様々な解析への応用が期待されている。しかし、ヒトiPS細胞は、細胞株ごとに多様な性質をもち、また必ずしも全ての細胞株から正常で安全な分化細胞を誘導できるとは限らない。そこで、複数のヒトES細胞、ヒトiPS細胞株から神経幹細胞を誘導し、その性質を詳細に検討したうえで免疫不全マウスに移植し、マウス脳内における分化能、機能性、および造腫瘍性について検討した。さらに、良質と考えられるヒトiPS細胞株から誘導した神経幹細胞を脊髄損傷モデルマウスに移植し、有意な機能回復を得ることに成功した。迅速で確実に良質なヒトiPS細胞を選択することで、再生医療のみならず、患者由来ヒトiPS細胞を用いた病態解析など、様々な研究への応用が可能になると考えられる。

【岡田 記】

◇懇親会 17時30分～ (参加費不要) チサンホテル神戸 3F 六甲

兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802(組織部)

兵庫県保険医協会 第43回総会に

出席します

記念講演に参加します ( ) 人

懇親会に参加します ( ) 人

(地区 ) (お名前 )

## 兵庫県保険医協会 239号 2011年5月25日 神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

### 第79回評議員会

## 被災地支援の経験を報告



神戸支部から上田評議員(下)が発言した

協会は5月15日に協会会議室で、第79回評議員会を開催。評議員や理事ら91人が参加した。6月19日に行われる第43回総会に提出する2010年度会務報告と11年度活動方針・予算案、新役員案を承認。東日本大震災の全被災者の医療費一部負担金免除や全被災医療機関再建への公的支援の実施などを求める決議を採択した。

神戸支部からは、上田耕蔵評議員が、3月19日から22日までの4日間にわたる東日本大震災被災地での医療支援の経験を踏まえ、「震災対策の一からの見直し」を提案した。

(兵庫保険医新聞6月5日付 詳報)



### 協会ホームページ 東日本大震災情報

協会ホームページでは、東日本大地震情報を掲載しております。被災地協会の状況や支援の取り組みなどをお伝えしております。

ぜひご覧ください。

<http://www.hhk.jp>





## 神戸市が国保保険料の算定方式変更を計画

### 【政策解説】

# 弱者世帯に負担増

神戸市は国保等の保険料のうち所得割保険料の算定方式について、2012年度から一部変更し、2013年度には、基本的に「基礎控除後所得方式」(旧ただし書き方式)へ変更する方針だ。

神戸市の現在の算定方式は、「各種控除後所得方式」(住民税方式を一部修正したもので、「所得」からさらに各種控除を引いて所得割保険料を算出している。この方式の利点は、扶養控除をはじめ社会保険料控除、障害者控除、寡婦控除等があるため多人数世帯や障害者がいる世帯、寡婦などに配慮された保険料となること。

一方、「旧ただし書き方式」は、「所得」から基礎控除(33万円)を引いただけで算出され、子どもが多い、障害者がいる、などについては配慮されない。神戸市は多人数世帯で負担増になる世帯については、独自控除を行うとしているが、独自控除による保険料の減収分は、あらかじめ保険料の総額に上乘せするとしており、国保加入者内で負担をつけ回す形だ。

独自軽減がどの程度になるかは不明だが、これまで各種控除によって、所得割保険料が低額に抑えられてきた世帯にとっては、

保険料が大幅に引きあがることになる。

「旧ただし書き方式」への変更は、厚労省の思惑で全国的に進められてきた経緯があり、基本的に「住民税方式」を維持しているのは、県下では神戸市のみ。

神戸市が変更しようとする直接の原因は、国民健康保険を県単位の広域化し市町国保を統一する厚労省方針にある。

しかし、どのような方式であれ、国保保険料が高額になる原因は、国庫負担が6割台から25%程度まで削減されていること。

保険料総額は、必要な医療見込み額から一部負担金と公費負担を除いた残りとして決定される。つまり、加入者の所得とは無関係に決定されている。所得割保険料というと、所得に応じた保険料のように見えるが、実際は、加入者を所得順に並べるという役割だけにすぎない。

低所得世帯や障害者のいる世帯など弱者に重い負担増となる算定方式の変更は中止させることが必要。大元は国保への国庫負担を元にもどすことだが、神戸市の一般会計からの繰入金は、任意分については政令指定都市の中では最低水準。これを引き上げて保険料を抑えることが求められている。

## 投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。  
日常診療に関わることや、主張などお寄せください。

◇ e-mail [tamura@doc-net.or.jp](mailto:tamura@doc-net.or.jp) 担当：田村まで  
◇ TEL 078 - 393 - 1817 ◇ 078 - 393 - 1802



## かざみどり通信

神戸支部ニュースでは、会員どうしの交流を深めるため役員・会員投稿シリーズ「かざみどり通信」を始めました。テーマは自由です。ぜひご投稿ください。今回は、神戸支部評議員の大石麻利子先生です。

### 「避難者の方々にできること」

北区 大石 麻利子 先生



被災地に支援物資を送るため、準備をする大石先生と真星病院の職員

東日本大震災の被災者の方々に、政府は集団での一時避難地を全国につくる予定であると聞いています。兵庫県でも淡路に1万人ほどの方を迎え入れるとのことですが、私たちにどのような支援ができるのでしょうか。どのような方々が避難していらっしゃるのでしょうか。

先日、医療や介護の必要な方の入院の受け入れ状況の問い合わせがあり、回答

をしましたが、その後、連絡がありません。もし、就業希望の方がおられたら、私たち医療や介護の職場での仕事を提供することができます。しかし、現在、そのどちらも情報を公開できるところがありません。

何か役にたちたいと思う気持ちがありながら、形にすることのできないもどかしさを感じている毎日です。